

〒975-0031  
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地  
TEL:(0244)26-1314  
FAX:(0244)26-1318  
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp



令和8年度  
小・中学校初任者研修 新規採用養護教諭研修 (小・中)  
新規採用学校栄養職員研修  
地区別研修 A 一般研修

- 日 時：令和8年4月15日(水) 9:50~16:15
- 会 場：浪江町防災交流センター(浪江町大字室原字八龍内2-2-1)
- 参加者：小学校教諭9名、中学校教諭17名、義務教育学校2名、養護教諭1名 合計29名
- 内 容：講 話 「新規採用者・初任者に期待すること」  
講 義 「域内の学校教育指導の重点」  
講義・演習 「学年・学級経営の在り方」  
講 義 「新規採用者・初任者研修の進め方」

【研修のまとめ】

本日の講義、演習等の内容を踏まえ、初任者として今後、授業実践や研修等に臨むにあたり、以下のことに留意していただきたいと思えます。

- 謙虚に学び、そして感謝の気持ちを大切に、「教えるプロ」として授業力・指導力・遂行力等の専門性を高めていくこと。
- 教職員として、組織内での役割を全うし、「同僚と支え合いながら教育活動を行う」こと。
- 福島県の課題を把握し、全ての児童生徒に必要な資質・能力を育成するために、「個別最適な学び」「協働的な学び」「探究的な学び」へと変革を進めること。
- 学習や生活の基盤として、児童生徒にとって「心理的安全性」のある学年・学級経営を行うこと。
- 「同期の輪」を大切に、「教師自身が、仲間と共に学び合い、成長していく」ことができるようにすること。

研修の感想

- 教員は、生徒と共に学び続ける仕事であり、他の先生方と協働して職務を行うことが必要であることを改めて理解した。
- 子どもと教師、子ども同士の信頼関係、人間関係の構築を大切にしていきたい。
- 相双地区は震災の影響を大きく受けながらも、着実に復興への歩みを進めており相双ならではの教育が展開されていることを学んだ。
- 学校では、子どもたちのことだけでなく、環境や言葉、一緒に働く先生方のことを考えて仕事をしていくことが大切だと思った。
- 今回の研修で学んだことも含め、これからの研修でどのような学びがあるのか、その学びを学校現場でどのように生かせるのか楽しみになった。

